PC-Mapping Ver.7



平成 30 年 5 月(更新) 平成 30 年 5 月(機能更新対応)

株式会社 マプコン

目 次

1. インストール	2
2. 構成	3
2. 1. メニュー	3
2. 2. プロジェクト	3
3. 機能	4
3. 1. DM 新規プロジェクト	4
3. 2. DM 表現サンプルプロジェクト	7
3. 3. DM インデックスファイル作成	8
3.4.DMデータエクスポート	10
3. 5. メッシュ指定による DM データエクスポート	13
3. 6. (拡張)DM 分類・区分コード整合検査	19
4. コマンド処理	20
5. 備考	22
5.1.点(E5)データの扱いについて	22
5.2.方向(E6)データの扱いについて(その1)	23
5.3.方向(E6)データの扱いについて(その2)	24
5. 4. 小物体記号の表示について	25
5.5.属性(E8)データの扱いについて	26
5. 6. 世界測地系でのエクスポート	27
5.7.拡張 DM 対応に伴なう一部方向データの扱い変更について	28
付 録	
 1.インデックスファイル作成時ダイアログ	35
☆DM データフォーマットとの対応	
2.[プロジェクトエキスパート]-[メモ]パネル	
☆DM データフォーマットとの対応	40
3. [レイヤーエキスパート]ー[メモ]パネル	42
☆DM データフォーマットとの対応	43
4. [レイヤーエキスパート]ー[アーク]パネル	
☆DM データフォーマットとの対応	45
5.[レイヤーエキスパート]-[ポイント]パネル	46
☆DM データフォーマットとの対応	
更新履歴	49

1. インストール

DM(ディジタルマッピングデータ)作成KITは、プロテクタ装置により機能の認識を行いますので、インストールの必要はありません。更新時は、Pcm. exeの更新と同時に行われます。

プロテクタ装置に「DM 作成キット」ライセンスが登録されてあれば、起動時に[拡張機能]-[D M データ]メニューが表示されます。

ライセンスは、[**ヘルプ]-[バージョン情報]**メニューを実行するか、Pcm. exe と同じフォルダー 内にある「PcmLicIDCheck. exe (ライセンス確認プログラム)」で確認することができます。



2. 構成

2. 1. メニュー



DM 新規プロジェクト

スケルトンの PC-Mapping プロジェクトを作成します。

DM 表現サンプルプロジェクト

DM の図式表現サンプルプロジェクトを作成します。

DM インデックスファイル作成

DM フォーマットデータのインデックスファイルを作成します。

DM データエクスポート

PC-Mapping で作成・編集したデータを DM フォーマットのファイルとして 出力します。(DM 図郭単位のプロジェクトから)

メッシュ指定による DM データエクスポート

PC-Mapping で作成・編集したデータを DM 図郭メッシュを指定して、 DM フォーマットのファイルとして出力します。

(拡張) DM 分類・区分コード整合検査

プロジェクト内の DM 分類コード、図形区分、データ区分をチェックします。

JPS・SIMA-DM エクスポート

PC-Mapping で作成・編集したデータを JPS・SIMA-DM フォーマットの ファイルとして出力します。

※DM データのインポートは、PC-MappingVer 7 標準機能[ファイル]-[インポート]-[DM(デ ジタルマッピングデータ)]メニューからインポートすることができます。 詳しくはヘルプをご覧ください。

2. 2. プロジェクト

DM データプロジェクトの詳細は、付録「PC-Mapping の設定と DM フォーマットの対応」をご覧ください。

3. 機能

3. 1. DM 新規プロジェクト

[DM 新規プロジェクト]メニューを選択すると、「DM データ新規作成」ダイアログボ ックスが表示されます。パラメータを入力して【OK】ボタンを押すと新規プロジェ クト(スケルトン)を作成します。

DMデータ 新規作成		×
作成する図葉コード 09id713 ブロジェクトの保存先フォリ	 □ 座標系を独立に設定 座標系の設定 >> レペー ✓ 世界測地系 	 OK キャンセル ヘルプ(H)
D:¥DM関連¥デー	9 9	
図郭名称 タイトル名 入力機器名 承認番号 作業機関名 数値化区分 取得年月	09id713 都市計画図 SUMMIT 28-I106-YA マプコン 6 1710 最終取得年月 0 消去年月	0

<u>作成する図葉コード</u>

新規に作成する DM データの図葉コードを半角で入力します。

□<u>座標系を独立に設定</u>

このキットでは、図葉コードを指定する事により自動で座標情報を持ちますが、図葉コードにない座標系を設定したい場合にチェックします。

<u>座標系の設定</u>

[座標系を独立に設定]がチェックされている場合、平面直角座標系の 設定を行なう事ができます。

このボタンをクリックすると、[直角座標系の設定]ダイアログボックスが 表示されます。

直角座標系の設定	×
論理図郭(Q) (m)	 ок
左上(1) 37500 -36000 右上(2) 37500 -34000	n ++>tu
左下(1) 36000 -36000 右下(3) 36000 -34000	ヘルプ(円)
DM図葉コード(D) クリップボードから(B) >> 回変則図第	Î
□この座標は世界測地系 JGD2000 です(W) 日本測地系 < > 世界測地系	
▼この座標は世界測地系 JGD2011 (測地成果2011)です	
AL-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-	0 E2F>>
〒112 U9 ▼ 新館尺(S) 17 2500	
▶ 高度な設定	

□<u>世界測地系</u>

このキットでは、図葉コードを指定する事により自動で座標情報を持ち ますが、「座標系を独立に設定」し、世界測地系を設定したい場合にチェ ックします。

<u>プロジェクトの保存先フォルダ</u>

新規作成するプロジェクトの保存先フォルダを指定します。

【…】ボタンをクリックすると[フォルダの参照]ダイアログボックスが表示されます。プロジェクトを保存した際に、レイヤーが NAV ファイルとして保存されます。

指定が無い場合は、レイヤーが内部データとして作成されます。



【OK】ボタンをクリックすると新規プロジェクトが作成されます。



3. 2. DM 表現サンプルプロジェクト

[DM 表現サンプルプロジェクト]メニューを選択すると、描画パラメータセットに登録 されている、1:500、1:1000、1:2500の各図式が表示されたプロ ジェクトを作成します。

レイヤー プロジェクト名(N) 図 表示モード DM表現サンプル	₿ <u>₽</u>
34 環境-1 □ 追加(A))
¹ 環境-2	y ///
■11 ■性データベース)
正 広域イメージ	P(L)
	夕(I)
「「「「「「「「」」」 音景ピクチャー	≂(n) [
▲ 標高メッシュ・TIN 表示 別	表示
▲ DM表現サンプル	
エリアマップ	*
福祉 □ [221500] 地下街・地下鉄等出入口(極)分 (352800) キリスト教 ℃ [420400] 路(瞬间 : [5226)	00]滝(極小)
一一一〇 マウスイベント ド ド ローク 「2219001 道路のトンネル ★ 「8524001 学校 ト 「4205001 175-5 ローク 「520201 10001 10001 100000000000000000000	100] 世参(極小)
▲ メモ ・ [223800] 並木 会 [352500] 幼稚園・(常育園 … [420700] 鳥居(極小) ・ [5228	00]水門(極小)
	001 ******
3Dポイントクラウド	
● [242100] 停留所(極小) ① [353000] 老人木一ム Q [422100] 独立樹(広葉樹) ④ [6212	00] 駐車場
「0401001 開目/坂山、 🔥 「050100」(20時間) 🌾 「4000001 16	001 (B)(\$
tovorona) (AtBall A 66 1000 (AtBall A 16455500) (2017) (4555200) (2017) (4552500) (2017) (4512) (45	OOJ DEDER

画面上、または、出力により図式形状の確認が行えます。

3. 3. DM インデックスファイル作成

[DM インデックスファイル作成]メニューを選択すると、「DM インデックスファイル作成」ダイアログボックスが表示されます。パラメータを入力して【OK】ボタンを押す と、インデックスファイルを作成します。

DMインデックスファ	イル作成		×
計画機関名			🖌 ОК
🔲 転位フラグ	📃 間断フラグ	西暦年号	
作業規程名			
□「系」を指定	する		
含まれる図郭ファイ。	16		
			<u>)追加(A)…</u> 角彩除(R)
文字コード(A)	O ANK(JIS8)	C EBCDIC	
漢字コード(K)	o JIS	C EUC	Shift JIS
レコード(R)	🔘 CR LFなし	🔘 LFወው	OF LFあり
インデックスファイルのイ	呆存先		
I			

<u>計画機関名</u>

ディジタルマッピングを計画した機関名(漢字15文字以内)

転位フラグ

ON の場合:当該データファイルで、転位処理を行なっている **OFF の場合**:当該データファイルで、転位処理を行なっていない

<u>間断フラグ</u>

ON の場合:当該データファイルで、間断処理を行なっている **OFF の場合**:当該データファイルで、間断処理を行なっていない

西曆年号

作業規程が施行された西暦年

<u>作業規程名</u>

使用した作業規程名(漢字15文字以内)

<u>□「系」を指定する</u>

ファイル名に、図郭割り番号を使用していない場合 チェックを **ON** とすることで、「座標系」が入力できます。

<u>含まれる図郭ファイル</u>

当該データに含まれる図郭ファイルを、<追加>ボタンで追加します。 <解除>ボタンで登録から解除されます。

<u> 文字コード</u>

作成するインデックスファイルの文字コードを選択します。 ラジオボタンで「ANK(JIS8)」または「EBCDIC」を選択します。

<u>漢字コード</u>

作成するインデックスファイルの漢字コードを選択します。 ラジオボタンで「JIS」または「EUC」または「Shift JIS」を選択します。

<u>レコード</u>

作成するインデックスファイルのレコードタイプを選択します。 ラジオボタンで「CR LF なし」または「LF のみ」または「CR LF あり」を 選択します。

<u>インデックスファイルの保存先</u>

作成するインデックスファイルの保存先を指定します。 右側のアイコンをクリックすると「ファイル開く」ダイアログボックスから 指定することができます。 3. 4. DM データエクスポート

プロジェクトを開いた状態で、[DM データエクスポート]メニューを選択すると、「DM データエクスポート」ダイアログボックスが表示されます。パラメータを入力して 【OK】ボタンを押すと、現在開いている PC-Mapping のプロジェクトから DM デ ータフォーマットを作成します。

DMデータ エクスポー	- ト			×
図郭(図葉)ファイル				
D:¥DM関連¥09MD44	43.dm			🖌 ОК
✓ 拡張DM対机	芯	🔲 レコード数は図算	パレコードを含む全レコード数	
文字コード(A)	ANK(JIS8)	C EBCDIC		
漢字コード(K)	🔘 JIS	C EUC	Shift JIS	座價100単12
レコード(R)	🔘 CR LFなし	🔘 LFのみ	CR LFあり	
座標	(20) 💿 XY(2D)	🔘 XYZ(3D)	📝 点(E5)は実データなし	
🔲 プロジェクトメモより[図郭座標を設定する	ZUKAKU"	レイヤーのアークを(傾斜)図郭と	(する)
測地成果識別コード	◎ 日本測地系	◎ 世界測地系	◎ 日本測地系から世界測	地系へ変換
○世界測地系から地部	殻変動パラメータによるネ	潮正回数 潮正	パラメータコード 	(4) (5)
図郭識別コード	◎ 図郭は切り直され	ರುತ ⊚ ಕ	しいしていた。 しんしん しんしょう しんしょ しんしょ	
変換手法識別コード	◎ 図郭代表点を座根	票変換(1) ── 🗵	郭四隅を座標変換(2)	
	◎ 全座標データを座	標変換(3) 💿 1-	-3以外の変換(9) 💿 そ	れ以外(0)
同時にエクスポートする	5レイヤー(L)		すべて選択(<u>A</u>)	すべて非選択(<u>U</u>)
2000	AV 290 B 374		213 👃 0/0/0/0 🎮	0 × 0 🕅 😈
	Hy 84 7∕3 84 A∥ 31 ₽4 46		0 4,5 0/0/0/0 MM	
5000	H 47 1 53		0 🕹 0/0/0/0 🖂	0× 0 🕅 🛗
6000			166 👃 0/0/0/0 🎮	0 × 0 🕅 🛄
	HY 102 76 170 HY 0 124 0		- 98 & 0/0/0/0 M - 3 むむ 0/0/0/0 M	
3000C	🗒 O 🖗 O		128 👃 0/0/0/0 🕅 -	0 × 0 🕅 🛅
4				

<u>図郭(図葉)ファイル</u>

エクスポートする DM データフォーマットのファイル名を入力します。 右側のボタンをクリックすると、「ファイル名前を付けて保存」 ダイアログボックスが表示されます。 拡張子は「dm」が自動でセットされますが変更が必要な場合は ここで修正して下さい。

<u> 拡張 DM 対応</u>

ON の場合:拡張 DM フォーマットでエクスポートします。

レコード数は図郭レコードを含む全レコード

ON の場合: このファイルの全レコード数を出力します。 **OFF の場合**: ヘッダー部分を省いたレコード数を出力します。

<u> 文字コード</u>

出力する DM データフォーマットの文字コードを選択します。 ラジオボタンで「ANK(JIS8)」または「EBCDIC」を選択します。

漢字コード

出力する DM データフォーマットの漢字コードを選択します。 ラジオボタンで「JIS」または「EUC」または「Shift JIS」を選択します。

レコード

出力する DM データフォーマットのレコードタイプを選択します。 ラジオボタンで「CR LF なし」または「LF のみ」または「CR LF あり」を 選択します。

座標

出力する DM データフォーマットの座標を選択します。 ラジオボタンで「XY(2D)」または「XYZ(3D)」を選択します。

<u> 点(E5)は実データなし</u>

ONの場合:点(E5)データの座標値を「代表点の座標値」にセットし 実データレコードは作成しません。

<u>プロジェクトメモより図郭座標を設定する</u>

ON の場合:前景レイヤの図郭座標から図郭レコードの座標値を 決めずにプロジェクトの[メモ]パネルの座標値から設定 します。

"ZUKAKU"レイヤーのアークを(傾斜) 図郭とする

ON の場合: プロジェクト内の"ZUKAKU"レイヤーのアークを図郭と します。(斜め矩形で図郭割りを行う場合)

測地成果識別コード

- ラジオボタンで、以下から選択します。
- ●日本測地系
- ●世界測地系
- ●日本測地系から世界測地系へ変換
- ●世界測地系から地殻変動パラメータによる補正

補正回数:補正回数をプルダウンリスト(1~5)から選択

パラメータコード:補正に使用したパラメーターコード

※この補正設定値は、図郭レコードd の73カラム目以降に格納

<u>図郭識別コード</u>

ラジオボタンで「図郭が切り直されている」または「それ以外」を 選択します。

<u>変換手法識別コード</u>

- 座標変換を行なった場合、ラジオボタンで以下から選択します。
- ●図郭代表点を座標変換(1)
- ●図郭四隅を座標変換(2)
- ●全座標データを座標変換(3)
- ●1-3 以外の変換(9)
- ●それ以外(0)

同時にエクスポートするレイヤ

デフォルトで、【すべて選択】状態になっています。 レイヤ名をクリックし、DMデータフォーマットとしてエクスポートする レイヤを指定できます。 【すべて選択】ボタンで全レイヤが選択状態となり、【すべて非選択】ボ タンで全レイヤが非選択状態となります。

【OK】 ボタンをクリックすると、DM データフォーマットのファイルが作成されます。

*分類コードの値が0以下10000以上の場合は、出力されません。 また、出力レコードが1件も無い場合は、ファイル作成されません。

3. 5. メッシュ指定による DM データエクスポート

全域データプロジェクトから、メッシュ指定で DM データエクスポートを行います。 (1) [ファイル]-[インポート]-[DM(デジタルマッピングデータ)]メニューで、DMデータをインポート します。

🌇 プロジェクトエキスパート (DMデータ)	×
□□ レイヤー 図 表示モード	プロジェクト名(N) DMデータ	∛
 	レイヤー設定 レイヤー検索	 レ ジート 図 i6tn(A)
 		1 P 177 ↓↓ 0/0/0/0 PM 0× 87 52 ↓↓ 0/0/0/0 PM 0× 52 ↓↓ 0/0/0/0 PM 0×
	4000 Hy 63 H/ 79 H 2 5000 Hy 3731 H/ 4277 H 5 6000 Hy 56615 H/ 107957 H 0	11 P 716
▲ 標高メッシュ・TIN ▼ クイックシェイプ		0 P 1590 以 0/0/0/0 网 0× 0 P 1602 以 0/0/0/0 网 0× F 1602 以 0/0/0/0 网 0× F 表示:非表示(D)
 証明 エリアマップ 福島 背景プロジェクト 		0 1 320 30 0/0/0/0 一 0× 0 1 0 3 0/0/0/0 一 0× 表示 非表示 0 3 0/0/0/0 一 0×
 スクリプト マウスイベント 		0 評計 159 後は 0/0/0/0 四 0× 型 編集可 イロルリ 0 評計 0 後は 0/0/0/0 四 0× 編集可 編集不可
●● キーリスト ●● ツリープロパティ ●● メモ		 ご 新規フォルダー(E)
■■ リビジョン管理 ■■ 男と権限		 ↓ 下へ 「悪」」√(ヤー(F)
1 WMSサイト	<	デージャント (1)
	1	 OK 「1 キャンセル」 OK 「1 キャンセル」

(2) [ツール]-[表示領域検索]-[表示領域の図郭コード等の算出]メニューを実行すると、「表示領 域の図郭コード等」ダイアログボックスが表示されます。(画面上で表示されている領域より、一回り 外側までのコードが表示されます)



「表示領域の図郭コード等」ダイアログボックスは、【OK】ボタンで閉じます。

(3)「1/2500DM図葉コード」の【レイヤーデータ化】ボタンをクリックすると、リストのそれぞれの図 郭枠を「1アーク 1ポリゴン」化したレイヤー(ZUKAKU)を作成し、現在のプロジェクトに追加され ます。

🍇 プロジェクトエキスパート (DMデータ)		×
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	プロジェクト名(N) DMデータ		
 	レイヤー設定 レイヤー検索 DMデータ 	13934 🖻 1 🖻 177 🔱	 ▶ 2 ソート ○/0/0/0 四 0× ○/0/0/0 四 0×
 ■ 広域イメージ ■ 広域ペクター ■ 背易ピクチャー ▲ 構要スパミュ・TIM 	# 93000 H 98086 H 8 # 94000 H 9 63 H 8 # 95000 H 9 63 H 8 # 95000 H 9 531 H 8 # 95000 H 9 56615 H 8 # 97000 H 9 56615 H 8	8257 79 7837 52 5 79 21 76 5 4277 2 52 776 5 107957 0 7809 5 177957 0 7809 5 11605 5 4755 0 0 1590 5 5	0/0/0/0 一 0× 0/0/0/0 一 0× 0/0/0/0 一 0× 0/0/0/0 一 0× 0/0/0/0 一 0× 0/0/0/0 一 0× 0/0/0/0 一 0×
 ▲ 保商メッシュ・IIIV ▲ イックシェイブ ● エリアマップ ● 背景プロジェクト 	7000C ⊟ 0 Pa 9000C ⊟ 0 Pa 9000C ⊟ 0 Pa 9000C ⊟ 0 Pa 9000 □ 24 Pa	0 0 0 0 1602 U 0 0 0 P 326 U 10 0 0 0 U 48 0 0 U	0/0/0/0 四 0× 0/0/0/0 四 0× 0/0/0/0 四 0× 0/0/0/0 四 0× 0/0/0/0 四 0× 0/0/0/0 四 0×
 ■ スクリフト ● マウスイベント ■ キーリスト ● リノープロパティ 	— 98000 ⊟9 0 ра П 4 ра — 92 стикаки д9 54 ра	0 🗃 0 🗭 159 🔱 6 🗐 0 🗰 0 🤑 54 🔁 54 🛄 0 🌡	0/0/0/0 一四 0× 0/0/0/0 一四 0× 0/0/0/0 一四 0× 0/0/0/0 一四 0× 前規フォルダー(E)
 ⇒ メモ ■□□ リビジョン管理 ■■ ■■ ■■ ■■ ■■ ■■ ■ ■■ ■■ ■ ■ ■ <li< th=""><th></th><th></th><th> ▲ 上へ ● 下へ i善前景レイヤー(E) </th></li<>			 ▲ 上へ ● 下へ i善前景レイヤー(E)
110 WM591 F		"	► ► ► ► ► ► ► ► ► ► ► ► ► ► ► ► ► ► ►
		У ОК 🚺	キャンセル ヘルフ

(4)「ZUKAKU」レイヤーを修正します。レイヤーエキスパートを表示し、レイヤーを 「@DMZukaku」に変更します。

後レイヤ	アーエキスパート((@DMZuk	aku)					x
تا 🔊	うこそ	レイヤー	@DMZukaku					
A.	'-ク	R₽	54 圮	54	54 🔛	0	0 _X	0
ر <mark>بھ</mark>	'-K		0	0	0	0	0	

(5) ポリゴンの内部属性には「Code」フィールドが作成され、図郭コードが転記されます。

₩ レイヤーエキスパート	(@DMZukaku)
🔬 ೩೨೭そ	表示設定(I) 前景(編集可) ▼ 【 背景へコピー □ 内部ID
$\Delta r - p$	▼ フィル 低位(背景イメージの上、線形の下) ▼ □中心点 □中心点に表示
1 −×	 □ 面積 □ 周長 □ 拡張パターン □ 横並びで表示(H) □ オン代表表示 □ 画面回転に連動しな() □ サイズ固定(F) □ 選択強調表示なし
🎾 ポリゴン	表示フォント(F) MS UI Gothic 9 Point A 参照(B)- 「拡張グラフィックス」を適応しない
😰 ポイント	
בפעא 🏥	1 Code 文字型 V 加雪 C 加雪 V なし マ

(6) ポリゴン内部属性を設定します。

- ①「Code」フィールド名を「aCode」に変更します。
- ② 「Code」フィールドを追加します。

フィールド名:Code スタイル:文字型 ☑計算フィールド 式:ucase([aCode])

国性ノイールトの設定	
フィールド名(N) Code	🖌 ОК
スタイル(S)	↑ キャンセル
文字型 ▼	
表示析数(M) 8	表示順序 最後尾 🔻
フィールド幅(F)	リレーション(R)
約 12 文字分	■ IGC 対象(G) ■ ■性昭全非素子(日)
接頭語(H) 接尾語(T)	 ローム、ビスタキュモノハハリ ロームンドウ非表示(W)
	■検索メニュー等非表示
	周性何与非表示 入力規則防適応
HTML記法	 半角入力(IMEをオフ)
■ 個人情報保護フィールド ■ 空白文字の置換表示	📄 全角入力(IMEをオン)
□ データベースリンク	マルチリンク表示
□データベースリンク(他フィールド参照) 拡張 >>>	キーデータも併記する
参照フィールド(R)	· · ·
データベース(D) <u>2</u>	-
キーフィールド(K)	
データフィールド(V)	-
◎計算フィールド ◎ ドリカー計算フィールド ◎ モード1書式	t
式 ucase({aCode})	_>>
□ フンキンクノイールト □ 背景色の指定 マ □ 当	1日時短期表示(1)対象
表示権限 権限なし 🖉 変更権限 権限なし 🖉 コピー	権限なし・

82

③「NAME」フィールドを追加します。

フィールド名:NAME スタイル:文字型 ☑計算フィールド 式:ToZen({Code})

フィールド名(N) NAME OK スタイル(S) 生物ンセル 文字型 左寄世 表示桁数(M) 8 表示析数(M) 8 フィールド幅(F) リレーンコン(R) IGC 対象(G) 国住民会非表示(M) 接線翻訳(H) 接尾語(T) (文字列の場合)空文でも接頭器、接尾語を表示 ス)力規則を適応 四人情報(保護フィールド 空白文字の置換表示 (「食本スリンク」 マルチリンク表示 データベースリンク マルチリンク表示 データベースリンク マルチリンク表示 データベースリンク マルチリンク表示 データベースリンク マルチリンク表示 データベースリンク マルチリンク表示 データベースリンク マルチリンク表示 データベース(D) タ ギーフィールド(R) マーレード データフィールド(K) マーレド(K) データフィールド(K) マーレド(I) データフィールド(K) マーレド データフィールド(K) マーレド(I) データフィールド(K) マーレド1書式 オ ToZen([Code]) ン	属性フィールドの設定	x
スタイル(S) ・ キャンセル 文字型 ・ を寄せ ・ ハルブ 表示術数(M) 8 フィールド幅(F) ・ ・ ・	フィールド名(N) NAME	🖌 ОК
文字型 左寄世 ヘルプ 表示術放(M) 8 表示術放(M) 8 フィールド幅(F) リレーション(R) 訪 12 文字分 一方12 文字分 一方12 文字分 一方12 文字分 一方12 文字分 「な字列の場合)空文でも接頭語、指尾語を表示 日本 (文字列の場合)空文でも接頭語、指尾語を表示 ス力規則を適応 一日 日田 (文字列の場合)空文でも接頭語、指尾語を表示 ス力規則を適応 日本人力(MEをオン) 全角入力(MEをオン) データベースリンク マルチリンク表示 データベースリンク マルチリンク表示 データベースリンク マルチリンク表示 データベースリンク マルチリンク表示 データベースリンク(他フィールド参照) 加温 データベースリンク(他フィールド参照) セーデークな(H記する) データベースリンク(他フィールド参照) マルチリンク表示 データベース(D) シ キーフィールド(R) マ データスイールド(K) マ データスイールド(V) マ ジョ マ オーフィールド(V) マ ジョ マ ジョ マ ジョ マ ジョ マ データン マ ジョ <td>スタイル(S)</td> <td>↑ キャンセル</td>	スタイル(S)	↑ キャンセル
表示術該(M) 8 表示術族(M) 8 フィールド幅(F) リレーション(R) 12 文字分 リレーション(R) 130 打2 文字分 日本 14度頭語(H) 接尾語(T) 150 対象(G) 電は照会非表示(M) 150 対象(G) 電は日告非表示 150 対象(G) 電力(M) 150 対象(G) 電力(M) <t< td=""><td>文字型 ・ 左寄せ ・</td><td>② ヘルプ</td></t<>	文字型 ・ 左寄せ ・	② ヘルプ
フィールド幅(F) リレーション(R) 約 12 文字分 IGC 対象(G) 層性現会非表示(M) 傍秋公(P) 非表示(W) 接原語(H) 接尾語(T) (文字列)の場合) 空文でも接閉語、指尾語を表示 ウインドジ非表示(W) (文字列)の場合) 空文でも接閉語、指尾語を表示 ス力規則を追応 中HTML記法 第人力(IMEをオン) (個人情報保護フィールド 空白文字の置換表示 データベースリンク マルチリンク表示 データベースリンク(他フィールド参照) 10.5 データベースリンク(他フィールド参照) 10.5 データベースリンク(他フィールド参照) 10.5 データベースリンク(他フィールド参照) 10.7 データベースリンク(他フィールドの) マルチリンク表示 データベース(D) マー ギーフィールド(K) マー データフィールド(K) マー データフィールド(V) マー アンター ドリガー計算フィールド モード1書式 ア	表示桁数(M) 8	表示順序 最後尾 🔻
約 12 文字分 16C 対象(G) 開始現金非表示(H) 一日の 対象(G) 一 招野語(H) 一技尾語(T) (文字列)の場合)空文でも接頭語、指尾語を表示 一日の 対象(G) (文字列)の場合)空文でも接頭語、指尾語を表示 開性(対多非表示(W) 検索メニュー等非表示 開せ(対象)を表示 (国人)情報(保護フィールド 空白文字の置換表示 (国人)情報(保護フィールド 空白文字の置換表示 データベースリンク マルチリンク表示 データベースリンク(他フィールド参照) 加引 データベースリンク(他フィールド参照) 143月 データベースリンク(地フィールド参照) 143月 データベースリンク(地フィールド参照) 143月 データベースリンク(地フィールド参照) 143月 データベースリンク(地フィールド参照) 143月 データマイールド(R) 143月 データフィールド(K) 145日 データフィールド(K) 145日 データフィールド(V) 145日 ジョン 15ロ	フィールド幅(F)	リレーション(R)
●カンドウ非表示(W) ●カンドウ非表示(W) ●カンドウ非表示(W) ●カンドウ非表示(W) ●検索シュー等非表示 ●(文字列の場合)空文でも接頭語、接尾語を表示 ●HTML記法 ●ガスカ(IMEをオン) ●「個人情報報保護フィールド 空白文字の置換表示 ●オーカスカ(IMEをオン) データベースリンク データベースリンク(他フィールド参照) ガールド(R) データベースリンク(他フィールド参照) ボーカールド(R) データベース(D) シーマールド(K) データフィールド(K) データフィールド(K) データフィールド(K) アークレールド ●11直フィールド ●11直フィールド ●11直フィールド ●11直フィールド ●11直フィールド ●11直フィールド	約 12 文字分	■ IGC 対象(G) ■ 属性昭全非表示(H)
【文字予列の場合)空文でも接頭語、接尾語を表示 【検索火ニュー等非表示 【日本日本事素示 「届性村与非表示 「日本日本」 「日本日本」 「日本日本」 「日本」 「日本」 「日本」 <td>■ 接頭語(H)</td> <td>ウィンドウ非表示(W)</td>	■ 接頭語(H)	ウィンドウ非表示(W)
▲田田19年来また ● HTML記法 ● HTML記法 ● HTML記法 ● 中月入力(IMEをオフ) ● 住日 ● ケークシーンド ● 空白文字の置換表示 ● マルチリンク(他フィールド参照) ○ マルチリンク(他フィールド参照) ○ マルチリンク(他フィールド参照) ○ マルチリンク(他フィールド参照) ○ マルチリンク(他フィールド参照) ○ マルチリンク(他フィールド等照) ○ マルチリンク表示 マールド(R) ○ マールド(R) ○ マールド(K) ○ マールド(K) ○ マールド(K) ○ マールド(K) ○ マールド(K) ○ マールド(K) ○ マールド(V)	(文字列の場合) 空文でも接頭語、接尾語を表示	■検索メニュー等非表示
 HTML記法 半角入力(IMEをオフ) 個人情報解保護フィールド 空白文字の置換表示 全角入力(IMEをオフ) データベースリンク(他フィールド参照) マルチリンク気示 データベースリンク(他フィールド参照) マールド(R) マークターンド(R) 		□ 周田内与非表示 ○ 入力規則を適応
		 半角入力(IMEをオフ)
データベースリンク マルチリンク表示 データベースリンク(他フィールド参照) 拡張 ボークールド(R) ・ データベース(D) ・ キーフィールド(K) ・ データフィールド(K) ・ データフィールド(V) ・ ジ計算フィールド トリガー計算フィールド ・ モード1書式 ・ ・	□1回八省戦隊・歳ノイールト □ 至日又子の置決表示	■ 全角人力(IMEをオン)
		マルチリンク表示
データベース(D) データベース(D) キーフィールド(K) データフィールド(V) ✓ 計算フィールド □ IJガー計算フィールド □ モード1書式 ★ ToZerk(Pode)) >>>		7-J-201#8E98
	データベーフ(D) A3	
データフィールド(V) ▼計算フィールド □ リリガー計算フィールド □ モード1書式 → ToZerk(Eodel)) >>	*-7/-11/5(K)	
✓計算フィールド □ トリガー計算フィールド □ モード1書式 → ToZerk(Code)) >>		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
 ✓計算フィールド □ IJガー計算フィールド □ モード1書式 		_
ToZen({Code})	▼計算フィールド □ トリガー計算フィールド □ モード1まざ	
	ToZen({Code})	>>
	P/	
	ランキングフィールド ご 背景色の指定	白時強調表示の対象
表示権限 権限なし v 変更権限 権限なし v コピー権限 権限なし v	表示権限 権限なし 🔹 変更権限 権限なし 🚽 コピー	·権限 権限なし -

(7) 図郭レコードに記載される内容は、プロジェクトの「メモ」パネルに登録されています。

図葉単位でエクスポートする際に、ポリゴン内部属性として下記のフィールドが設定してある場合は、 その値がエクスポートされます。この説明書では、(6)までで、① CODE と ②NAME を設定して います。

- ① CODE=<図郭識別番号>
- NAME=<図郭名称>
- ③ LEVEL=<地図情報レベル>
- ④ TITLE=<タイトル名>
- ⑥ REPEAT=<修正回数>

⑦ NEAR=<隣接図郭識別番号(1)>,<隣接図郭識別番号(2)>,<隣接図郭識別番号(3)>, DMの図 葉識別番号が使用されていれば、省略された場合は自動算出される

⑧ HEAD11=<作成年月>,<現地調査年月>,<撮影コース数>,<レコード数>,<入力機器名>,<公共測量 承認番号>,

〈測地成果識別コード〉,〈図郭識別コード〉,〈変換手法識別コード〉 省略された場合は空文

- ⑨ HEAD12=<作業機関名> <u>省略された場合は空文</u>
- ⑩ HEAD13=<コース番号>,<年月>,<縮尺>,<枚数>,<始点>,<終点>,

省略された場合は空文繰り返しある場合は、

- ① HEAD31=<作成年月>,<現地調査年月>,<撮影コース数>,<レコード数>,<入力機器名>,<公共測量
 承認番号>
- 12 HEAD21=<作成年月>,<現地調査年月>,<撮影コース数>,<レコード数>,<入力機器名>,<公共測量
 承認番号>
- ③ QP0 ~ QP3=<図郭座標> 前景レイヤの図郭座標を使用しない場合、左下 X座標、左下 Y座標、右上
 X座標、右上 Y座標を入力

※ DM インポート時に作成される「@ZUKAKU」レイヤーは、図郭アーク線データです。 この属性に、図葉レコード記述内容が記載されています。

この属性を「@DMZukaku」レイヤーの図郭ポリゴン転記して利用する事ができます。

ತ್ರ ಕ್ರಾಂತ ನಿರ್ದಾ	- 表示影	(定(1) 前景(編集可)	• 4	背景へコピー		内部ID
<u> </u>	☑ 線	形 🛛 補間点	📝 方向 🛛 📃 f	代表点 📃 パステキ	スト 📃	代表点(2表示
	座	標 📃 座標(Z)	■長さ ■ 損	広長パターン		横並びで表示(H)
	V 1.	ニオン代表表示 📃	画面回転に連動し	ない 🛛 サイズ固定	(F) 📃	選択強調表示なし
🎾 ポリゴン	表示:	フォント(F) MS U	I Gothic 9 Point	🔺 参照(<u>R</u>)	「拡張グラフ	ィックス」を適応しない
@ #<>>	内部履	引生				
		フィールド名	フィールド型	表示 主描画 従描	画 🖉 🔺	スクロール ロック(L)
🤷 メッシュ	1	CODE	文字型			
X	2	NAME	文字型		E	Pl ABbo(A)
	3	TITLE	文字型			
キーリスト	4	LEVEL	文字型			[]] 削除(<u>D</u>)
	5	REPEAT	文字型			💋 更新(山)
	6	UNIT	文字型			リンクフィールドの
特殊なレイヤー	7	ZUKAKU_CODE	文字型			一括追加
	8	HENKAN_CODE	文字型			
	9	SOKUCHISEIKA_COD	文字型			JT. & UTLXX
	10	HOSEI	文字型			AT#8/#/0
	11	HOSEI1	文字型			*川州川世(山
	12	HOSEI2	文字型		-	表示制御(P)
	参照する	描画パラメーターセット(P))			

(8) エクスポート対象の図葉を選択します。

[選択]-[個別選択]-[ポリゴン選択]メニューを実行すると、ポリゴン選択モードとなります。 エクスポート対象の図郭ポリゴンを指定します。



(9) [拡張機能]-[DM エクスポート]-[メッシュ指定による DM データエクスポート]メニューを実 行すると、「DM データエクスポート」ダイアログボックスが表示されます。

ファイルの保存先の他、各オプションを設定して【OK】を押します。

指定したフォルダーに図葉単位のDMデータファイルが作成されます。

DMデータ エクスポー	-ト						×
数値地形図図郭ファイ	ル保存先						
D:¥DM¥Out¥						V	ОК
☑ 拡張DM対	応	🗖 Va-I	響は図郭	レコードを含むさ	全レコード数		ッンセル レプ(H)
文字コード(A)	ANK(JIS8)) 💿 EBC	DIC				
漢字コード(K)	🔘 JIS	© EUC	:	Shift	JIS	座標値の	
レコード(R)	🔘 CR LFなし	💿 L F Ø	ው	💿 GR L	Fあり		
座標	XY(2D)	🔘 XYZ	(3D)	☑点(E8)	う)は実データなし		
	図郭座櫄を設定	:#3 🗌 "	ZUKAKU"	レイヤーのアーク	7を(傾斜)図郭と	する	
	 日本測地系 地殻変動パラメ、 	系 💿 世界 - タによる補正	測地系 補正回数	◎日本測 パラメータ (1) (1)	I地系から世界測 コード 2)(3)	地系へ変換 (4)(!	5)
図郭識別コード	◎ 図郭は切り	直されている	_ ₹	 认以外			
変換手法識別コード	◎ 図郭代表。	気を座標変換(1)	\odot ×	郭四隅を座標	変換(2)		
	◎ 全座標デー	タを座標変換(3)	© 1-	3以外の変換(!	9) 💿 Z ł	ጊ以外(0)	
同時にエクスポートす	るレイヤー(L)			すべて遠	閉沢(<u>A</u>)	すべて非	選択(山)
4000	Ay 63	79	21	716	\$ 0/0/0/0	🕅 0 x	• 0
5000	Hy 3731	4277	52	7809	L 0/0/0/0	₩ 0×	0
				11000	4.5 U/U/U/U 11 0/0/0/0	W UX	
7000		- Pa 1 1		1602	1.1 n/n/n/n		n l
4 8000C	AV 0	la o l		326	LJ 0/0/0/0	M 0x	0
E @ZUKAKU	H 10	4/3 10	8 0	 : 0	6/0/0/0	一 一 一 の ×	0 =
9000	Hy 24	7/3 48	8 0	0	6 0/0/0/0	🕅 0 x	0
8000				159		0 ×	0
2000	H. 4	76 5		U	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	M OX	

3. 6. (拡張)DM 分類・区分コード整合検査

プロジェクトを開いた状態で、[(拡張)DM 分類・区分コード整合検査]メニューを選 択すると、「(拡張)DM 分類・区分コード整合検査」ダイアログボックスが表示され ます。パラメータを入力して【OK】ボタンを押すと、現在開いているデータの整合 検査を行ないます。



<u>独自のコードテーブルを使用する</u>

 ON の場合:ファイル名入力ボックスが有効となりますので、 コードテーブルを指定します。
 OFF の場合:内部で登録されているコードテーブルを使用します 【内部コードテーブルをファイルへ出力>>】ボタンで ファイル出力できます。

* 独自のコードテーブルは、以下の形式で作成して下さい(1行目は不要です)

分類コード	縮尺 図形区	分	レコード区分
1101	1000	0	2
1102	1000	0	2
1103	1000	0	2

内部コードテーブルをファイルへ出力>>

ボタンをクリックすると、「名前を付けて保存」ダイアログボックスが 表示されます。内部コードを CSV 形式で保存します。

内部コードは、縮尺 1/500, 1/1000, 1/2500, 1/5000 に対応しています。

4. コマンド処理

DM データ作成の各メニュー機能は、コマンドラインバーからの入力でも実行できます。

- DM 新規プロジェクト DmNew
- ② DM 表現サンプルプロジェクトDmLegend
- ③ DM インデックスファイル

```
DmIndex
```

④ エクスポート

 $DmExport \triangle para1 \triangle para2 \triangle para3 \triangle para4 \triangle para5 \triangle ... para13$ Para1:図郭(図葉)ファイル 保存する DM データのファイルパス Para2:拡張 DM 対応 0=Off 1=On (拡張 DM フォーマットで出力します) Para3:レコード数は図郭レコードを含む全レコード数 0=Off(ヘッダー部分を省いたレコード数を出力します) 1=On (このファイルの全レコード数を出力します) Para4:文字コード 0=ANK(JIS8) 1=EBCDIC Para5:漢字コード 0=JIS 1=EUC 2=Shift JIS Para6:レコード 0=CR LF なし 1=LF のみ 2=CR LF あり Para7:座標 0=XY(2D)

1=XYZ(3D)

2=点(F5)は実データなし

Para8: プロジェクトメモより図郭座標を設定する

0=Off(図郭座標から図郭レコードの座標値を決定します)

1=On (図郭座標から図郭レコードの座標値を決めずにプロジェクトの[メ モ]パネルの座標値から設定します。)

Para9: "ZUKAKU"レイヤーのアークを(傾斜)図郭とする

0=Off

1=On

Para10:測地成果識別コード

プロジェクトの図郭座標が日本測地系の場合、選択できません(必ず日本 測地系出力)。世界測地系の場合、**1,2**のみ選択できます。

0=日本測地系

1=世界測地系

2=日本測地系から世界測地系へ変換

Para11:図郭識別コード

0=図郭は切り直されている

1=それ以外

Para12:変換手法識別コード

0=図郭代表点を座標変換

1=図郭四隅を座標変換

2=全座標データを座標変換

3=0~2以外の変換

4=それ以外

Para13:同時処理レイヤの設定(省略可)

0=全て非選択

1=全て選択(省略した場合)

直接レイヤを指定する場合は、レイヤ名を順番に列挙する。

<レイヤ名1> <レイヤ名2> … <レイヤ名n>

処理内容

パラメーターが正常な場合、DM データフォーマット形式に変換してファイルへ出力 します。

パラメーターが異常な場合、DMデータのエクスポートダイアログが表示されます。

5. 備考

5. 1. 点(E5) データの扱いについて

DM フォーマットデータのエクスポート時に「点(E5)は実データなし」オプションを ON にして場合、点(E5)データの座標値を「代表点の座標値」にセットし、実データレコー ドは作成されません。

ON の場合のエクスポート例

H 4200	01	3	0	0		0 0	0 (3	0	0	009901	3
E54221	120	0560 (00	0	01	00695	62718		00		0004	1
E54221	220	0560 (00	0	01	07244	72290		00		0004	1
E54221	320	0560 (00	0	0	90870	78084	Ļ	00		0004	1

OFF の場合のエクスポート例

H 4200	0 1	3	0	0	0	0	0	3	0	0	009901		3
E54221	1 2	2 03560 00)	0	1	0	0		00		0004		1
100695	62718	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0
E54221	2 2	2 03560 00)	0	1	0	0		00		0004		1
107244	72290	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0
E54221	32	2 03560 00)	0	1	0	0		00		0004		1
90870	78084	0	0		0	0	0		0	0	0	0	

5. 2. 方向(E6) データの扱いについて(その1)

作業規程による「方向」の定義は、『ある点に対する方向を示す場合に用いるもので、2つの 座標値を組みとして方向を示す』となっています。

その為このキットでは、

・真位置をアークで取得し、表示の際にはポイントで表示する(真位置データと表示用デ ータの2つが必要)

- ・ポイント位置と回転角度で真位置を表示する(ポイントデータのみでよい) 以上の2パターンに対応しています。
- ポイントデータのみで対応する場合、以下のようになります。
- ① 新規作成

ポイントで取得し、回転をかける。(アークを別途取得する必要なし)

(例) 流水方向(分類コード:5241)



② インポート

インポート時のダイアログボックスで、方向データの扱いを指定します。

ON の場合

方向データの座標値は、ポイントの位置と回転角度としてインポートされます OFF の場合

方向データの座標値は、アークの始点、終点としてインポートされます

③ エクスポート

内部属性の「レコードタイプ」フィールド値が「6」の場合

- ・アークで取得:始点座標値、終点座標値を方向データの座標値とする
- ・ポイントで取得:ポイント位置座標値と回転角度から計算した座標値を方向デー タの座標値とする(長さは自動設定)

5. 3. 方向(E6) データの扱いについて(その2)

方向(E6)データを「ポイント」として取得し、その回転角度により方向を示した場合、 Ver.4 では『北上方向0度の反時計まわり』での表示としておりましたが、Ver.6 より DM の 作業規程に記載されている注記の文字列角度と同様に、『水平方向0度の反時計まわり』の 扱いと致しました。

DM 図式は、Pcm.sym ファイルに登録されており、DM ツールインストール時に自動的に セットされる様になっております。Ver.6 以降では、方向データとして扱う必要のある DM 図式(拡張パターン)の方向を変更いたしました。

Ver.4 での方向の扱いで、データ作成を行う場合は PC-Mapping Ver.4 のインストールフォ ルダにある Pcm.sym ファイルを PC-Mapping Ver.6 のインストールフォルダにコピーして 下さい。(現在 PC-Mapping Ver.6 のインストールフォルダにある、Pcm.sym ファイルはフ ァイル名を変更して残しておく事をお勧めします)

< 例> 信号灯(2246)が方向(E6)で入力されている DM データをインポートした場合



5. 4. 小物体記号の表示について

作業規程の『小物体記号の表示の原則』に従い、シンボルの外周に 0.2mm の白部を置いて 表示できる様にしました。

「ポイント」の内部属性文字マスクフィールドの「描画」チェックを ON にします。

🔬 ೩೨೭そ	表示	设定(I) — 前景(編集可)	▼ < 背景		■内部ID	
<u>∧</u> <u></u>	, 🔽	■位置 🛛 シンボル	🔲 テキストオ	フセット	ダブり点:	表示抑制
	國國	ē標 📄 座標(Z)	☑ 拡張パター	->	📰 横並びで	表示(H)
N 7-1	V	ニオン代表表示 📃 画面	回転に連動しない	🔄 サイズ固定(F)) 📃 選択強	周表示なし
D #11=7.	表示	フォント(F) MS UI Got	hic 9 Point 🛛 🔺	参照(R)_ [] []	拡張グラフィックス」	を適応しない
	内部					
⑦ ポイント	1 2021	フィールド名	フィールド型	表示 主描画	従猫画 &	、 スクロール ロック(1)
5	13	届性(Z)	整数型			(b).
	14	グループID	整数型			180
🟹 イメージ	15	名称	文字型	~		1570(<u>A</u>)
	16	フォントフェイス	フォント型	V		🔛 削除(<u>D</u>)
+-UZP	17	回転角度	回転角度型	V	¥	🛃 更新(山)
	18	文字サイズ	文字サイズ型	~		リンクフィールドの
	19	文字配置	文字整列型	V		一括追加
特殊なレイヤー	20	文字マスク	マスク型	V	×6	
	21	線号	整数型			
<u> </u>	22	SYMBOL	整数型	× 1	Č= :	=
	23	実データ区分	整数型			17 5 1171 33
	24	空き領域	文字型			メモ・ギーリスト >>
	25	@方向オフセット	実数型			*刀期f值(I)
					•	- 表示制御(<u>P</u>)_
	参照する	5描画パラメーターセット(P)	DM2500			

次に、マスクをかけたい図式の文字マスク属性を ON にします。

[] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [主照会			X
対象レ	イヤ 広域ベクター、背景ブ(コジェクトを含むすべての表示レイヤ	- •	888822
_	2000		Ŧ	 非表示要素捕捉なし
位置	座標 −47,352.35(m) −5,	308.99(m) 0.000(m)	•	
	フィールド名称	フィールドデータ		属性コピー(<u>A</u>)
14	グループID	0		
15	名称			座標リスト(L) >>
16	フォントフェイス	フォント型:??		データベース呼出(D)
17	回転角度	0.0		リレーション起動(配)
18	文字サイズ	文字サイズ型??	Ξ	レイアウトビュー(い)
19	文字配置	左上] 🗆	
20	文字マスク	Mask On		
21	線号	0	-	前景に非選択に
	1.5.5	1		

下図のように表示されます。

5. 5. 属性(E8) データの扱いについて

従来、属性(E8) データにつきましては、「公共測量作業規程」で明確に仕様が決められて おりませんが、この DM キットにおきましては属性(E8) データが存在する場合以下の扱 いとなっています。

属性レコード(E8)が存在する場合、属性データベースを作成

データベースの設定			X		
データベース名 01			✓ OK ★ ++ンセンル		
フィールド名 1 レコードタイブ 2 分類コード	フィー <mark>整数型</mark> 整数型	-ルド型			
3 要素識別番号 4 レベル 5 図形区分	整数型 整数型 整数型	データベー	スの設定		X
0 相及区分 7 注記区分 8 転位区分 9 間断区分	整数型 整数型 整数型 整数型	データベ・ 01	ース名 フィールド名	フィールド型	✓ OK ✓ OK ✓ ▼ ++ンセル
10 X 11 Y 12 属性(Z)	整数型 整数型 整数型	8 9 10	転位区分 間断区分 X	整数型 整数型 整数型	スクロール ロック(U)
表示フォント(<u>F</u>) MS Pゴシック 9 Point		11 12 13	Y 属性(Z) 座標X	整 <u>级型</u> 整数型 実数型	tal 💌
		14 15 16 17	坐帰↑ 属性区分 属性書式 取得年月	吴姒空 整数型 文字型 日付時刻型	□ 追加(<u>A</u>) □ 闭除(<u>D</u>)
		18 19	ベループID ダループID 属性レコード	 ・1-33(3)主 ・ ・ ・	▼
		表示フォ]	フトモン MS Pゴシック 9 Point	参照(<u>R</u>)	

フィールドは、DM データの「要素レコード」の内容に対応しております。 最終フィールドに『属性レコード』として属性データが取込まれます。 ベクタデータとは、『要素識別番号』でリンクさせることができます。 ※『属性』フィールドの詳細設定等は、オプションでの個別対応となります。

5. 6. 世界測地系でのエクスポート

『日本測地系』で作られたデータ(「新規作成」または「インポート」)を『世界座標系』 でエクスポートする場合、座標変換後([ファイル]-[システムツール]-[測地成果 2000 対応 変換])に図郭を切り直す仕様であれば問題ありませんが、図郭を切り直さない場合は、 [プロジェクトエキスパート]-[メモ]パネルの図郭座標を確認・修正し、エクスポートのオ プション

▼ プロジェクトメモより図郭座標を設定する

をチェックした状態でエクスポートして下さい。

※世界測地系で「新規作成」を行なった場合、世界測地系のデータを「インポート」した 場合は特に注意は必要ありません。 5.7. 拡張 DM 対応に伴なう一部方向データの扱い変更について

従来の DM では、1/1000、1/500 取得基準において、下記につきましては

分類コード	·	名称

- 4119 | 有線柱
- 4132 電話柱
- 4142 電力柱

柱の位置をポイントデータ、架線の方向をアークデータとして取得してきました。

拡張 DM では、方向データ(E6)は

ある点に対する方向を示す場合(例えば電柱)に用いるもので、2つの座標値を 組として方向を示す。最初の座標値がその中心を、次の座標値がその方向を表し、 1レコードには、三次元座標レコードでは2組の方向データを持つ。 (詳しくは、拡張ディジタルマッピングデータファイル仕様(平成16年3月)9/11ページを ご覧ください)

扱いとなりました。

その為、PC-Mapping では、上記に限り、柱の位置はポイントデータとして持たず アークで架線方向を、それらを繋ぐノード(結合点)で、表す事にしました。

by 09 id7088 ☑ 属性照会 対象レイヤ 前景レイヤ ⊻ 🖶 🎜 🖽 🖉 🕑 **=**] 4000 ▼ 🧿 非表示要素捕捉なし レイヤ: 4000 フィールドタカ フィールドデータ 属性コピー(A)... 1 2 分類コード 5 (匠) 情報コピー(C) 4142 地域分類 3 0 情報分類 4 0 要素識別番号 n 5 レベル 0 6 🖕 🥥 ユニオン強調 -14 図形区分 0 7

○ 新規作成の場合

レコードタイプ:6 で 架線のアークを取得

柱の位置は、ノードにシンボル表示用のフィールドを準備して表示させます。





ノードの「SYMBOL」フィールドに『41200』を入力し、「電柱」のシンボルで描画します。

○ エクスポートの場合

従来と同じ方法です。

DMデータ エクスボー	ŀ			
図郭(図葉)ファイル				
owt#JRDM			<u></u>	🖌 ок
✓ 拡張DM対応	5)	☑ レコード数は図算	部レコードを含む全レコード数	× キャンセル
文字コート位	O ANK (JIS8)	O EBCDIC		
漢字コード(<u>K</u>)	🔘 JIS	O EUC	⊙ Shift JIS	
レコード(<u>B</u>)	◯CR LFなし	🔵 LFのみ	OR LFあり	
座標	⊙ XY(2D)	OXYZ(3D)	✓点(E5)は実データなし	
🗌 プロジェクトメモより国	国郭座標を設定する			
測地成果識別コード	○日本測地系	⊙ 世界測地系	〇日本測地系から世界測地	
⊠郭識別コード	⊙ 図郭は切り直さ	れている	○それ以外	
変換手法識別コード	 図郭代表点を図 	2標変換(1)	○ 図郭四隅を座標変換(2)	
	○全座標データを	至標変換(3)	○1-3以外の変換(9)	○それ以外(0)
同時にエクスポートする	レイヤ①		すべて選択(<u>A</u>)	すべて非選択(山)
1000 1000	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	

○ インポートの場合

読み込むファイル	(E)		
			× ++>
			18加
			□→ 解除
系(図葉識別番	号を使用していない場合)	09系	*
レイヤ分け	レイヤ分けしない		~
制御ファイル			
制御ファイル 方向データ 酒師医分を 猫面キイを	レイマカリしない ボイントに保存 抽画キイに反映させる ミデータとし、分類コード、図形区分を話	+算フィールドにする(描画	速度は向上します)
7157775011#4	手元ファ1ル		
ロプロジェクトを ファイル名は	: 作成せずに、直接レイヤデータをファイノ DMデータ名+レイヤコード	しに保存する、	

「方向データをポイントに保存」オプションにチェックを入れてインポートします



「電力柱」は、架線がアークとしてインポートされます

🖦 レイヤエキスパート	(4000)
 どうこそ アーク アーク メリゴン ボリゴン ボイント イメージ イメージ キイリスト ツリープロパティ メモ 	表示設定の 前泉(編集可) 省場へピー 「内部D 「端点 」を標 」座標 」座標
	初期值 Ф ★ 表示制御(P)
<	参照する描画パラメーターセット(P) DM500
	OK X キャンセル

[レイヤエキスパート]-[ノード]パネルには、自動で下記の設定が行われます。

[プロジェクトエキスパート]-[表示モード]パネルの「ノード」-「結合点」のチェックを入れて、柱の位置を表示させます。

🏰 プロジェクトエキスパート(DMデータ)	
● レイヤー ● 登録された表示モード ● 現在の標準論定	前景レイヤー(F) アーク 図線形 補間点 万向 ■属性
 ■ 表示モード ■ 描画パラメーター 	ノード ■端点 図結合点 ■ 属性 ボリコン 図 フイル ■ 属性
₩ 環境-1	ポイント 図点 図属性 その他 図図第 ロイメージ スカジョン 原稿性
◎▲● 環境-2	11日本 11日本 11日本 11日本 11日本 11日本 11日本 11日本
	<u> </u>
□ 広域ペクター	パソコン ♥ フィル □ 属性 ポイント ♥ 点
○ 育長ビクチャー ▲ 標高メッシュ・TIN E	その他 図第 イメージ メッシュ 縮尺表示制御
2 クイックシェイプ	□ 「 」 」 □ 広域ペクター(L) □ 広域イメージ(D) □ 背景ピクチャー(T) □ フィットシュナイブ(C) □ 「 ニシュナイブ(F) □ フトールパー(タイプ)
 ビリアマップ ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	■ 背景色に固定(C) ■ ユニオン代表表示 ■ レイヤー毎の描画 ■ 正担化 基準占非表示(M) ■ 立字列時公表示の加強
スクリプト 【 (保存(S)_ 」 (除除(B))	■ 二級に金平気非安小(10) ■ 大子ヶ海ヶ次のの外部 ■ 属性表示の再配置(R) ■ 異なる座標人レイヤーの合わせこみ表示 ■ になったする
○ マウスイベント 内部データ(1) すべて内部データ	□ クリッド(3) □ 〒子 ● 座標 規定 ▼ グリッドの間隔 ▼ 自動 0.0 0.0 (m) ▼
■ シリープロパティ 標準から22- 種準へ22-	□ 一括描画モード(D) 強調ブリンク □ 前景レイヤー □ 背景レイヤー
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	□ モングロ表現 高度な設定
▶ WMSサイト - □スケールバー(タイプ8) 左上 -	
	✓ OK <u> へ</u> キャンセル

*印刷時には、「結合点」、「点位置」を非表示とするため、レイヤエキスパートの各パネルのチェックを外して下さい



<更新履歴> 1999年11月 方向(E6)データの扱いについて 2000年1月 属性(E8)データの扱いについて 2000年4月 点(E5)データの扱いについて 2000年4月 点(E5)データの扱いについて・その2 2001年6月 PC-Mapping Ver.5 対応 マルチファイルインポート機能追加 2001年6月 2002年10月 インポート時レイヤ分けオプション追加 エクスポート時、図郭レコードに世界測地系情報を追加 2002年12月 世界測地系でのエクスポート マルチファイルインポート時レイヤ分けオプション追加 2004年4月 Ver.6対応。インポートは、標準機能として[ファイル]-[インポート]-[DM(デジタルマッピング真位置データ)メニューが 追加されました。 2004年7月 拡張 DM に対応 2004年10月 「Pen」「Symbol」フィールド廃止。「分類コード+図形区分」 フィールド追加 2005年1月 「DmExport」コマンドにパラメーターを追加しました。 詳しくは「4. コマンド処理」をご覧ください。 2005年2月 「付録 PC-Mapping の設定とDM フォーマットとの対応」に 拡張 DM で追加されたフィールドを赤字記載しました。 2005年4月 拡張 DM 対応に伴なう一部方向データの扱い変更について 拡張 DM データエクス分類ポート時に、「分類コード」と 2006年2月 「図形区分」の整合チェックを行なう機能を追加しました。 例えば、「建物」は、分類コード 3001、図形区分 00 の場合 データタイプは E1 で取得します。この際、入力ミス等で データタイプは E2 とした場合のチェックが行なえます。 PC-MAPPING Ver7対応のマニュアルに更新 2018年5月

付 録

PC-MAPPING の設定と DM フォーマットとの対応

作業規程の準則(付録7 公共測量標準図式) 平成28年9月27日更新 に 準拠

1. インデックスファイル作成時ダイアログ

DMインデックスファイル作成							
計画機関名			🖌 ок				
■ 転位フラグ	🔲 間断フラグ	西暦年号	↑ ++>セル				
作業規程名			<u>()</u> ∧µ7(<u>H</u>)				
含まれる図郭ファイル	њ						
			注自加(A)				
			角罕除(R)				
文字コード(A)	ANK(JIS8) ANK(JIS8	C EBCDIC					
漢字コード(K)	o JIS	C EUC	Shift JIS				
レコード(R)	🔘 CR LFなし	🔘 LFのみ	OF LFあり				
インデックスファイルの信	呆存先						

① 計画機関名

ディジタルマッピングを計画した機関名(漢字15文字以内)

② 転位フラグ

ON の場合:当該データファイルで、転位処理を行っている OFF の場合:当該データファイルで、転位処理を行っていない

③ 間断フラグ

ON の場合:当該データファイルで、間断処理を行っている OFF の場合:当該データファイルで、間断処理を行っていない

④ 西暦年号

作業規程が施行された西暦年

⑤ 作業規程名

使用した作業規程名(漢字15文字以内)

⑥ 文字コード

作成するインデックスファイルの文字コードを選択 ラジオボタンで「ANK(JIS8)」または「EBCDIC」を選択

⑦ 漢字コード

作成するインデックスファイルの漢字コードを選択

ラジオボタンで「JIS」または「EUC」または「Shift JIS」を選択

⑧ レコード

作成するインデックスファイルのレコードタイプを選択 ラジオボタンで「CR LF なし」または「LF のみ」または「CR LF あり」を選択

⑨ インデックスファイルの保存先

作成するインデックスファイルの保存先を指定 右側のアイコンをクリックすると「ファイル開く」ダイアログボックスから 指定できます

☆DM データフォーマットとの対応

(1)インデックスレコード

(a)

/	フォーマット	内容		ダイアログの入力
1	A2	レコードタ	イプ	
2	I2	座標系		
3	N15	計画機関名	Ī	1
4	I3	図郭数		
5	I2	図郭識別番	号レコード数	
6	I4	使用分類コ	ード数	
7	I1	転位処理フ	ラグ	2
8	I1	間断処理フ	ラグ	3
9	Ι5	使用した	西暦年号	4
10	N15	作業規程	作業規程名	5
11	5X	空き領域		

2. [プロジェクトエキスパート]-[メモ]パネル

🍇 プロジェクトエキスパート ((エクスポートプロジェクト)	
	<i>ือวิวัตวีนรับโคร</i> ะ	
■ 表示モード	CODE=00NG211 新規(1)	
🌌 描画パラメーター		
▲ 環境-1	FVEL=2500 【 保存(S)	
環境-2	REPEAT=0	
■ 属性データベース		
🖾 広域イメージ	ZUKAKU_CUUE=U HENKAN_CODE=0	
🖾 広域ベクター	SOKUCHISEIKA_CODE=1	
「二」 背景ピクチャー	HOSEI=0	
🛕 標高メッシュ・TIN	HOSE11=0 HOSE12=0	
▶ クイックシェイプ	HOSE13=0	
🌆 エリアマップ		
🎑 背景プロジェクト	QP0=-19750.0000 18400.0000	
📃 スクリプト	QP1=-19600.0000 18400.0000	
🖱 マウスイベント	QP2=-19600.0000 18600.0000 OP219750.0000 18600.0000	
■ キーリスト	NEAR=00NG104,00NG113,00NG114,00NG212,00NG214,00NG213,00NG204,00NG202	
💵 ツリープロパティ	AKI_a=	
🕒 XE	AKI_b=	
■■ リビジョン管理	AKI_C- AKI 1=0	
◎ 署名と権限	NLayer=0	
🎦 WMSサイト	Ver=] UEAD11-1100_1100_2_1_SummitEurolution	
💩 3Dポイントクラウド	Image: The second content in the second con	

① CODE=<図郭識別番号>

省略された場合は、プロジェクトのタイトル名が使われる

- ② NAME=<図郭名称>
- ③ TITLE=<タイトル名>
- ④ LEVEL=<地図情報レベル>

省略された場合は、前景レイヤの縮尺分母が使われる

⑤ UNIT=<座標系の単位>

インポート時、エクスポート時は参照されない(縮尺より自動決定)

⑥ REPEAT=<修正回数>

エクスポート時は、⑧~⑩の繰り返し数

⑦ NEAR=<隣接図郭識別番号(1)>,<隣接図郭識別番号(2)>,<隣接図郭識別番号(3)>, …… DMの図葉識別番号が使用されていれば、省略された場合は自動算出される

 ⑧ HEAD11=<作成年月>,<現地調査年月>,<撮影コース数>,<レコード数>,<入力機器名>,<公共 測量承認番号>, <測地成果識別コード>,<図郭識別コード>,<変換手法識別コード>

省略された場合は空文

⑨ HEAD12=<作業機関名>

省略された場合は空文

⑩ HEAD13=<コース番号>,<年月>,<縮尺>,<枚数>,<始点>,<終点>,.....

省略された場合は空文

繰り返しある場合は、

⑧ [HEAD21=<作成年月>,<現地調査年月>,<撮影コース数>,<レコード数>,<入力機器名>,<公共 測量承認番号>

- ⑨ HEAD22=<作業機関名>
- ⑩ HEAD23=<コース番号>,<年月>,<縮尺>,<枚数>,<始点>,<終点>,.....

⑧ [HEAD31=<作成年月>,<現地調査年月>,<撮影コース数>,<レコード数>,<入力機器名>,<公共 測量承認番号>

- ⑨ HEAD32=<作業機関名>
- ⑩ HEAD33=<コース番号>,<年月>,<縮尺>,<枚数>,<始点>,<終点>,

と続ける

⑪QP0 ~ QP3=<図郭座標>

前景レイヤの図郭座標を使用しない場合、左下 X 座標、左下 Y 座標、右上 X 座標、右上 Y 座 標を入力

¹²ZUKAKU_CODE=<図郭識別コード>

日本測地系から世界測地系へ変換された図郭の状態を示すコード

- 1:図郭が切り直された場合
- 0 : それ以外

⁽¹³HENKAN_CODE=<変換手法識別コード>

座標変換の方法を示すコード

- 1 : 図郭代表点を座標変換
- 2 : 図郭四隅を座標変換
- 3:全座標データを座標変換
- 9:上記以外の座標変換
- 0 : それ以外

④SOKUCHISEIKA_CODE=<測地成果識別コード>

作成した成果の測地系コードを入力

- 0 :日本測地系で作成
- 1 :世界測地系で作成
- 2 :日本測地系から世界測地系へ変換

☆DM データフォーマットとの対応

(2) 図郭レコード

(a)

	フォーマット	内 容	プロジェクトのメモ
1	A2	レコードタイプ	
2	A8	図郭識別番号	1
3	N10	図郭名称	2
4	I5	地図情報レベル	(4)
5	N15	タイトル名	3
6	I2	修正回数	6
7	17X	空き領域	

(b)

	フォーマット	内 容			
1	I7		左下図郭座	X (m)	
2	17	図 郭 座 標	標	Y (m)	
3	I7	(1)	右上図郭座	X (m)	
4	17		標	Y (m)	
5	I3	空き領域			
6	I6	要素数			
7	17	レコード数		自動算出	
8	I3	座標系の単位			
9	17		左上図郭座	X (m)	
10	I7	図 郭 座 標	標	Y (m)	
11	I7	(2)	右下図郭座	X (m)	
12	I7		標	Y (m)	
13	9X	空き領域			

(c)

	フォーマット	内 容		プロジェクトのメモ
1	A8		(1)	
2	A8		(2))
3	A8		(3)	
4	A8	隣接図郭識別	(4)	
5	A8	番号	(5)	(U
6	A8		(6)	(
7	A8		(7)	
8	A8		(8)	
9	20X	空き領域)

(d)

	フォーマット	内容	プロジェクトのメモ
1	I4	作成年月	
2	I4	現地調査年月	L
3	I1	撮影コース数	
4	I1	レコード数	
5	N15	入力機器名	0
6	N15	公共測量承認番号	J
7	I1	測地成果識別コード	14
8	I1	図郭識別コード	12
9	I1	変換手法識別コード	13
10	14X	空き領域	

(e)

	フォーマット	内 容	プロジェクトのメモ
1	N20	作業機関名	(9)
2	44X	空き領域	

	フォーマット	内 容		プロジェクトのメモ
1	A4	坦影	コース番号	
2	I4	1取京>	年月	
3	I5	它古	縮尺	
4	I1	于具	枚数	
5	I4	写直釆旦	始点	
6	I4	→具面方 紙 撮影 二 毎 毎 毎 毎 毎 毎	終点	
7	A4		コース番号	
8	I4		年月	
9	I5		縮尺	
10	I1		枚数	10
11	I4	写直釆旦	始点	
12	I4	子兵笛方	終点	
13	A4	撮影	コース番号	
14	I4	- 14X.752	年月	,
15	15		縮尺	
16	I1	_ 与具	枚数	
17	I4	写直釆旦	始点	
18	8 I4	- 	終点	
19	18X	空き領域		

*データを「更新」した場合、履歴として HEAD 情報を追加していきます。

よって、修正回数はHEAD11~ の繰り返し数となります。このキットでは、エクスポート時に HEAD 情報の繰り返し数を認識していますので、REPEAT=の変更の必要はありません。(変更しても反映 しません。)

🏭 レイヤーエキスパート	(1100)				x
ようこそ アーク ノード パリゴン ③ ポイント ■ メッシュ キーリスト ② リリープロパティ ● 特殊なレイヤー ③ メモ	ZCODE=00NG211 LAYER=11 CODE=1100 CODE=0 CODE=0 LEVEL=1 DATE=1108 DATE=108 DATE=10 DATE=0 KUBUN=4 ZUKAKU_CODE=0 SOKUCHISEINKA_CODE=1 HOSEI=0 HOSEI=0 HOSEI3=0 HOSEI3=0 HOSEI3=0 HOSEI3=0 HOSEI3=0 P0=-97500,0000 84000,0000 QP1=-96000,0000 84000,0000 QP2=-96000,0000 84000,0000 QP3=-97500,0000 86000,0000 C	 ·		(保存(S)	
プロジェクトエキスパート	· >>		🖌 ОК	n ++>セル 🥥	ヘルプ

① CODE=<レイヤ>

レイヤヘッダー(含、グループヘッダー)の分類コード(4桁) <u>省略された場合はレイヤのタイトル名</u>

② CODE1=<地域分類>

地理情報の属する位置的特性による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード 省略された場合は空文

③ CODE2=<情報分類>

地図情報の利用目的による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード <u>省略された場合は空文</u>

④ LEVEL=<階層レベル>

通常"1"

インポート時は参照されない

エクスポート時 レイヤヘッダレコードの場合 =1 要素グループヘッダレコードの場合 =2 要素レコード (グループ内) =3 要素レコード (その他) =2

⑤ DATE=<取得年月>

省略された場合は空文

- 例:1985/1/1 ==> 8501 2000/4/1 ==> 0004
- ⑥ DATE1=<最終の取得年月>

<u>省略された場合は空文</u>

⑦ DATE0=<消去年月>

<u>省略された場合は空文</u>

⑧ KUBUN=<数值化区分>

<u>省略された場合は"3"</u>

☆DM データフォーマットとの対応

(3) グループヘッダレコード (レイヤヘッダレコード及び要素グループヘッダレコード)

\backslash	フォーマット		内 容		レイヤのメモ
1	A2	レコードタ	イプ		
2	T4		分類	レイヤ	1
3	14	地図分類	コード	項目	
4	I2	コード	地域分類		2
5	I4		情報分類		3
6	I4	要素識別番	:号		
7	I2	階層レベル	/		4
8	I5		総数		
9	I5		グループ		
10	I5		面		
11	I5		線		
12	I5		円		
13	I5	要素数	円弧		
14	I5		点		
15	I5		方向		
16	I5		注記		
17	I5		属性		
18	I1		グリッド		
19	I4	取得年月			5
20	I4	更新の取得年月		6	
21	I4	消去年月		\bigcirc	
22	I2	数値化区分		8	
23	X	空き領域			

4. [レイヤーエキスパート]-[アーク]パネル

約 レイヤーエキスパート	(1100)		×
ようごそ 	 表示設定(1) (前景(編集可) 図線形 図補間点 図方 	 ・	
♪ アード アード	 □ 但福 □ □ 二オン代表表示 □ 画面回 表示フォント(F) MS UI Goth 	 	
◎ ポイント	内部属性		
	1 レコードタイプ		_
メッシュ	2 分類コード+図形区分	整数型 / 2010	•
- イメージ	3 分類コード	整数型	111
	4 地域分類	整数型 道衡(D)	
	5 情報分類	整数型 = <u>2</u> 更新(U)…	6112
シリープロパティ	6 要素識別番号	22 数型 リンクフィールドの)
		整新型 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	
VE 🕹		整数型	
	11 間断区分	整数型	
	12 取得年月	日付時刻型 メモ・キーリストン	>>
	13 最終取得年月	日付時刻型 初期值(1)	
	14 消去年月	日付時刻型 - 表示制御(P)	
	参照する描画パラメーターセット(P)	DM2500	-
ブロジェクトエキスパート	•>>>	OK 0K キャンセル @ ヘル	げ

① レコードタイプ

1:面、 2:線、 3:円、 4:円弧、 6:方向 に対応

(PC-Mapping では折れ線でも、円、円弧に変換される)

② 分類コード+図形区分

描画用のコード。分類コード(4桁)+図形区分(2桁)の値を入力。

- エクスポートには関係しない。
- ③ 分類コード

「分類コード+図形区分」フィールドから分類コードのみ抽出。

- ④ 地域分類
- ⑤ 情報分類
- ⑥ 要素識別番号

エクスポート時は参照されない(機械的に決定)

⑦ レベル

エクスポート時は参照されない(機械的に決定)

- ⑧ 図形区分
- 「分類コード+図形区分」フィールドから図形区分のみ抽出。
- ⑨ 精度区分
- ⑩ 転位区分
- ⑪ 間断区分
- 12 最初の取得年月

- 13 最終の取得年月
- ⑭ 消去年月
- ⑮ 属性(Z)
- 16 グループ ID
- 同一番号で1つのグループとして処理
- 0 はグループ処理しない

☆DMデータフォーマットとの対応

(4)	要素レコー	ード
-----	-------	----

/	フォーマット	内 容		内部属性	
1	A2	レコードタイプ			1
2	T.4		分類	レイヤ	
3	14	地図分類	コード	項目	3
4	I2	コード	地域分類		4
5	I4		情報部分類		5
6	I4	要素識別番	号		6
7	I2	階層レベル	/		\bigcirc
8	I2	図形区分			8
9	I1	実データ区分			オプション、条件 等により代入され
10	I2	精度区分			9
11	I1	注記区分			常に 0
12	I2	転位区分			10
13	I1	間断区分			
14	I4	データ数		白動質山	
15	I4	レコード数		日期异山	
16	Ι7	代表点の X		告にの	
17	I7	座標値 Y			
18	I7	属性数值			15
19	I2	属性区分			常に 0
20	Α7	属性データの書式		常に空白	
21	I4	取得年月		12	
22	I4	更新の取得年月		13	
23	I4	消去年月		14	
24	6X	空き領域			
25	I1	要素識別番	号反復回数		自動算出

5.	[レイヤー	エキスパー	·ト]-	・[ポイン	ト]パネル
----	-------	-------	------	-------	-------

🍇 レイヤーエキスパート	(1100)					×
ತ್ರ ಕ್ರಾಂತ	表示設	定(1) — 前景(編集可)	▼ < 背景	132-	□ 内部IC	J
$\sqrt{p-h}$	🗾 点	位置 🛛 シンボル	🔲 テキストオコ	フセット	📃 ダブりょ	表示抑制
	一座	標 📃 座標(Z)	☑ 拡張パター	->	📃 横並び	で表示(H)
א−ר א	ב 🔽	ニオン代表表示 📃 画面	回転に連動しない	🔲 サイズ固定(F) 📃 選択強	調表示なし
	表示力	フォント(F) MS UI Go	thic 9 Point 🛛 🗛	参照(<u>R</u>) 🔲 🛙	拡張グラフィックス	」を適応しない
	一内部履					
🕞 ポイント		フィールド名	フィールド型	表示 主描画	従描画 🖉	▲ スクロール ロック(1)
1 1 1 2	1	レコードタイプ	整数型			
	2	分類コード+図形区分	整数型	×		
- ジージ	3	分類コード	整数型		Ċ.	
	4	地域分類	整数型			≡ <u>□</u> 削除(<u>D</u>)
#-UZF	5	情報分類	整数型			💋 更新(山)
1 シリープロパティ	6	要素識別番号	整数型			リンクフィールドの
	7	レベル	整数型			一括追加
特殊なレイヤー	8	図形区分	整数型		Ċ.	
	9	精度区分	整数型			
	10	注記区分	整数型			
	11	取得年月	日付時刻型			17 S 117 1 S
	12	最終取得年月	日付時刻型			メモ・キーリスト>>
	13	消去年月	日付時刻型			¥刀期值(I)
	14	属性(Z)	整数型			▼ 表示制御(P)
	参照する	描画パラメーターセット(P)	DM2500			•
「 プロジェクトエキスパート >>						

① レコードタイプ

5:点、7:注記(コード7で名称が空文でないものが注記7となる、他は点5として 処理される)

② 分類コード+図形区分

描画用のコード。分類コード(4桁)+図形区分(2桁)の値を入力。

エクスポートには関係しない。

③ 分類コード

「分類コード+図形区分」フィールドから分類コードのみ抽出。

- ④ 地域分類
- ⑤ 情報分類
- ⑥ 要素識別番号

エクスポート時は参照されない(機械的に決定)

⑦ レベル

エクスポート時は参照されない(機械的に決定)

- ⑧ 図形区分
- 「分類コード+図形区分」フィールドから図形区分のみ抽出。
- ⑨ 精度区分
- ⑩ 注記区分

1:漢字 2:英数カナ文字

- ⑪ 最初の取得年月
- 12 最終の取得年月

- 13 消去年月
- ⑭ 属性(Z)
- ① グループ ID
- 同一番号で1つのグループとして処理 0はグループ処理しない
- 16 名称
- ⑪ フォントフェイス

フォントスタイルの@の有無で縦・横を判定する

- 18 回転角度
- 19 文字サイズ

エクスポート時、高さとピッチが参照される

20文字配置

エクスポートには関係しない

文字マスク

エクスポートには関係しない

(21)線号

(22)実データ区分

(23)空き領域

該当フィールドがない時は、0または空文として処理されます。

フィールドの参照はフィールド名で行われます。フィールドの挿入、参照されない不要フィール ドの削除などを行うことができます。ただし、同一フィールド名のデータを作ることはできませ ん。(正しくエクスポートされません。)

☆DMデータフォーマットとの対応

) 安素レコード						
/	フォーマット	内容			内部属性	
1	A2	レコードタイプ			1	
2	T4		分類	レイヤ	3	
3		地図分類	コード	項目	Ű	
4	I2	コード	地域分類		4	
5	I4		情報分類		5	
6	I4	要素識別番	号		6	
7	I2	階層レベル	/		\bigcirc	
8	I2	図形区分			8	
9	I1	実データ区分			(23)	
10	I2	精度区分			9	
11	I1	注記区分			10	
12	I2	転位区分		尚に 0		
13	I1	間断区分				
14	I4	データ数			白動管山	
15	I4	レコード数		日期异山		
16	Ι7	代表点の X		白動件入		
17	Ι7	座標値 Y				
18	I7	属性数值			14	
19	I2	属性区分			常に 0	
20	Α7	属性データの書式			常に空白	
21	I4	取得年月			(1)	
22	I4	更新の取得年月		12		
23	I4	消去年月		13		
24	6X	空き領域			(24)	
25	I1	要素識別番号反復回数			自動算出	

(4)要素レコード

(8) 注記レコード

/	フォーマット	内 容	内部属性
1	I1	縦横区分	I
2	Ι7	文字列の方向	18
3	I5	字大 (0.1mm)	
4	I5	字隔(0.1mm)	(19)
5	I2	線号	(21)
6	A64	注記データ	16

更新履歴

2018.05.14 操作説明を Ver.7 対応とするとともに、1つにまとめた

- 2018.05.24 機能更新
 - ・インデックス作成時に「系」指定で行えるようにした
 - ・「DM 分類・区分コード整合検査」時のコード分類を

縮尺 1/500,1/1000,1/2500,1/5000 とした

2018.06.11 操作説明書「☆DM データフォーマットとの対応」誤記を修正